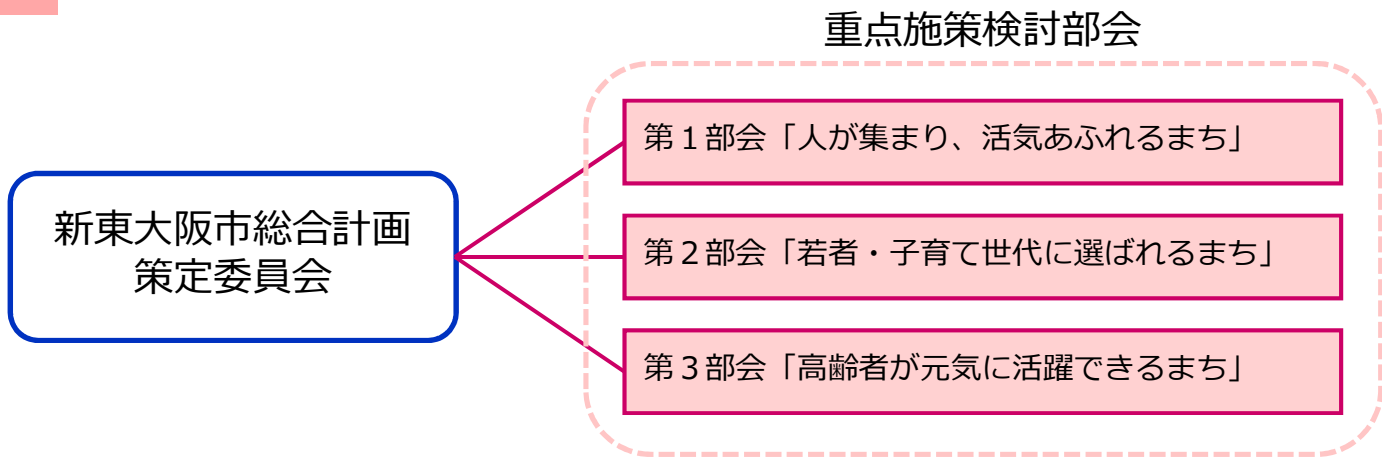


重点施策検討部会における検討状況(報告)

1 部会の構成



2 部会の役割

(1) 基本構想における3つの重点施策の方針の内容検討

各重点施策における①背景・課題、②将来(2030年)のまちの姿(その具体的な状態)、③将来のまちの姿を実現するために市が取り組む施策の方向性についての検討。

(2) 将来都市像(案)の検討

2030年に東大阪市があるべきまちの姿を端的に表すキャッチフレーズについての検討。

3 開催状況

部会	日時	次第
第1回 (合同開催)	平成31年2月27日(水)	1. 策定委員会委員長 訓示 2. 新総合計画のこれまでの議論・検討内容について 3. 重点施策検討部会の進め方について 4. 将来都市像の検討について
第2回 (個別開催)	平成31年3月1日(金)	重点施策における「将来のまちの姿」について、ブレインストーミングにより、自由に意見交換
第3回 (個別開催)	平成31年3月20日(水)	前回議論を踏まえ、将来のまちの姿を実現するために必要な取組みについてブレインストーミングしたうえで、マトリクスにより整理

4 今後の開催予定

部会	日時	内容
第4回 (個別開催)	平成31年5月中旬	「重点施策の方向性」に関する意見出し
第5回 (個別開催)	平成31年6月上旬	重点施策内容に関するまとめ

5 これまでの主な議論内容

第1部会「人が集まり、活気あふれるまち」

部会	主な意見
第2回 (将来のまちの姿について)	<ul style="list-style-type: none"> ・初めて市を訪れるきっかけが多くあり、交流人口が拡大する。 ・モノレールの開通にあわせ、公共交通が更に便利に。 ・まちに音楽や芸術作品が溢れている。 ・スポーツのまち。ラグビーだけでなくプロスポーツで盛り上がっている。 ・公園や緑が多く、子どもの遊び場がある。 ・観光の中継地点として、多くの外国人観光客が市を訪れている。 ・学生のオリジナリティ溢れるアイデア・発想が実現できる。 ・転入してきた学生が、市内企業へ定着する。 ・ベンチャー企業がスタートするまち。 ・花園中央公園でライブ開催などされ、多くの人が集まっている。 ・大型の複合施設・ショッピングモールがあり、人が集まる。
第3回 (将来のまちの姿を実現する具体的な取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的施設での宿泊体験 ・スポーツ大会の誘致 ・シェアサイクルをまちの至るところに ・宿泊施設の誘致 ・産学の橋渡し ・コワーキングスペースやシェアオフィスを市内に増やす ・学生と企業の交流施設やイベントの開催 ・ベンチャー企業に足りないものを供給できる仕組みづくり ・空家を貸しオフィスとして活用 ・花園ラグビー場の活用（エンタメ、ドローン、プロジェクションマッピングなど） ・賑わいの拠点となるエリアの整備 ・モノレール南伸にあわせた、“都心”の明確な位置づけと整備（荒本再開発） ・駅周辺の景観規制

第2部会「若者・子育て世代に選ばれるまち」

部会	主な意見
第2回 (将来のまちの姿について)	<ul style="list-style-type: none"> ・若者に魅力的な就職先が多くある。 ・市内で将来設計ができる。(子育て期はどこ、老後はどこ、など) ・安全なまち。治安がよく、道路、歩道、通学路が安全。 ・安心して妊娠・出産ができる。 ・子育てで本当に困ったときに手を差し伸べてもらえる。 ・子連れで買い物しやすい。商業施設が充実している。 ・地域のコミュニティが多様にある。 ・入りたい保育所に入れる。 ・水準の高い公立教育。教育環境が整い、安心して通学できる学校。 ・安心して女性が働くことができる。
第3回 (将来のまちの姿を実現する具体的な取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> ・若者が市内で結婚した後も住み続けたいと思える環境づくり ・教育力府内NO1のまち宣言 ・明るく、きれいな学校施設整備 ・教職員の資質向上 ・退職した教職員による宿題カフェ、学習の見守り ・病児・病後時保育の充実 ・子どもが安心・安全に遊ぶことができる公園の充実 ・駅前再開発による住環境イメージ向上 ・空家のリノベーションによるコミュニティづくり ・住宅取得による特典

第3部会「高齢者が元気に活躍できるまち」

部会	主な意見
第2回 (将来のまちの姿について)	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者がいつまでも健康で、健康であることが社会に評価されている。 ・高齢者がいつまでも生き甲斐を持って生活できる。 ・若者と高齢者がつながるコミュニティが形成されている。 ・高齢者の体力面に配慮された雇用環境が整い、自分の体の状態に合わせて無理なく働き続けられる。 ・高齢者のノウハウを生かした就職先がある。 ・高齢者のノウハウを地域課題の解決に活かすことができている。 ・外に出かけたくなるようなまちなみや地域がある。 ・高齢者が暮らしやすい地域づくり。
第3回 (将来のまちの姿を実現する具体的な取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者に対する、高齢者雇用促進の働きかけ ・若手経営者とベテラン(高齢)経営者のマッチング ・匠バンク登録制度 ・多世代交流センターの設置 ・高齢者の学童保育スタッフや地域ボランティア、NPO活動などによる地域への参画 ・"高齢者"の呼称変更 ・高齢者婚活 ・健康寿命延伸に対するインセンティブ付与